

# 加工キャベツの収穫が始まりました

本年度新たにJAを通じた加工・業務用キャベツの契約栽培がおこなわれました。一キロあたり50円の値ぎめの契約です。

管内でも7月下旬より定植が行われました。18名の生産者・組織が約5haの栽培に取り組み、中には初めてキャベツの栽培を始める方や組織もおられます。

契約栽培では収量向上のため、大玉品種(おきな)の導入やコスト低減のためコンテナ出荷に取り組んでいます。またJAと連携して研修会を開催したり、作期拡大のための新品種導入調査や定期的な現地巡回指導を行いました。

10月3日より収穫が始まり、傷や病虫害、割れ、重さなどを丁寧にチェックしたキャベツを出荷しました。(担当：駒野)



## 収穫作業

コスト低減のため鉄コンテナ(300kg入り)やプラスチックコンテナを利用



## 中山間地の水田で果樹を栽培してみませんか!

県では平成27年度から6年間かけて、中山間地域の振興のため、獣害を受けにくい果樹としてカリン、ナツメ、渋柿(三郎座)等の植栽を推進します。初めの3年間は実証圃(10a)を各樹種1か所設置して、植付けから収穫初めまでの栽培実証を行います。また、美浜町にあります園芸研究センターで大苗の養成をします。4年目から各樹種50a程度4団地への植栽を進める計画です。

興味のある方は当事務所農業経営支援部の松田または木下まで御連絡願います。



収穫時期を迎えたナツメ

## 高志地区農業活性化大会を開催します

高志地区農業改良振興会では水田農業を活性化させるため、みだしの大会を下記のとおり開催しますので、御出席願います。

日時：平成27年12月12日(土)  
10:00～12:00

場所：JA 福井市本店 大ホール

内容：

- ①研修「新しい園芸取り組みの動き」
  - ②講演「低米価時代の地域農業の取り組み」
- 講師 京都大学大学院 農学研究科  
准教授 伊庭 治彦 氏



## 編集後記

食べ物のおいしい季節となりました。表紙では畑での要注意植物を取り上げています。我が家でも、祖母がどこからか種を持ち込み、畑がミントだらけになったことがあります。一度繁茂すると大変ですので、見た目の綺麗さに惑わされないようにしましょう。

発行：福井県 福井農林総合事務所  
〒910-8555 福井市松本3丁目16-10(福井合同庁舎内)  
TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201  
農業経営支援部(直通) 0776-21-8207  
林業部(直通) 0776-21-8213  
農村整備部(直通) 0776-21-8216  
E-Mail: fuku-noso@pref.fukui.lg.jp

# F-mail



No.48

平成27年11月20日号



福井農林総合事務所だより

## 帰化アサガオに要注意!!

— 高志地区土づくり推進大会にて —

帰化アサガオは、海外で防除できず難防除雑草となっているものが日本に侵入してきたものです。種子が大きくて、寿命が長く、つる性で再生力が高い等の特徴から、防除が非常に難しい雑草です。大豆作等の転作田で繁茂し、作物の生育や収穫に非常に大きな影響を与え、特に関東・東北地域で大きな問題になっています。高志地区でも一部の大豆圃場、畦畔で帰化アサガオの「マルバルコウ」「マメアサガオ」が発見されており、今後注意が必要です。

そこで、福井農林総合事務所、高志農業改良振興会は、平成27年9月19日(土)に、ふくい農林水産支援センター研修館にて開催された高志地区土づくり推進大会に合わせて、帰化アサガオ類への対策を広く知っていただくため、農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センターの濫谷主任研究員を講師とし、「大豆作等における帰化アサガオ類対策」の講演を実施しました。

帰化アサガオ対策のポイントは、3点挙げられます。

### ①「地域に入れない」

地域で協力して圃場周辺の見回り、防除が効果的です。防除は、再生防止のために地際から刈り取るか抜き取る、種子が熟するのを防止するため、刈り取った株を焼却するなど放置しないことが重要です。また、きれいな花だと思って、種子をとって栽培しないようにして下さい。

### ②「地域で広げない」

圃場に侵入した場合、それ以上被害圃場を広げないことが重要です。圃場、畦畔の抜き取った雑草の適切な処分や、機械に付着して広がることを防止するため、未侵入圃場から作業を行います。

### ③「大豆の被害回避」

大豆圃場で帰化アサガオが蔓延してしまった場合、作物の被害を回避するため、圃場での防除が必要になります。ポイントは、大豆2葉期のベンタゾン(大豆バサグラン)の散布と、大豆が条間と同じ高さに成長するまでの2週間ごとの防除(中耕培土等)です。

以上のことを意識し、帰化アサガオのこれ以上の被害を出さないために、地域で協力して防除を行っていきましょう。(担当：中村)



大豆圃場およびガードレール付近で発見された帰化アサガオ「マルバルコウ」  
つる性の生育とオレンジ色の花が特徴

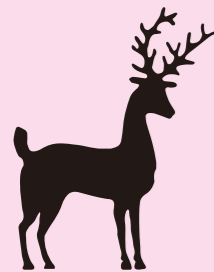


大豆圃場および畦畔で発見された帰化アサガオ「マメアサガオ」  
つる性の生育と、白い小さな花が特徴



# シカ・イノシシの「わな」による狩猟が 11月1日から始まっています

**山に入るときは注意してください**



狩猟期間

[ニホンジカ、イノシシ]

平成27年11月1日～平成28年3月15日

(※11月1日～11月14日および2月16日～3月15日はわな猟に限る)

[ニホンジカ、イノシシ以外の鳥獣]

平成27年11月15日～平成28年2月15日



- ★シカやイノシシを捕獲する「わな」を見つけた時、さわると危険ですので絶対に近づかないでください。
- ★入山する際は、目立つ色の服装を心がけましょう。
- ★登山道からはずれると、狩猟者にイノシシなどの動物と間違えられる恐れがありますので、注意してください。

## 県産材を使って 素敵にリフォームしませんか

**県産材**のあふれる**街づくり事業**(店舗・事業所等・民間児童施設) **申請受付中**

「ふくいの木」を使ってリフォームした事業主に、木を使った量に応じて補助をしています。

お店の場合、1件当り5万円～30万円

児童施設などの場合、最大200万円

の補助が出ます。ぜひ、補助制度をご活用ください。

【補助事業に関するお問い合わせ】

- 福井県福井農林総合事務所林業部  
Tel 0776-21-8213
- (一社)福井県建築士事務所協会  
Tel 0776-54-1552

【事業の申込み】

- (一社)福井県建築士事務所協会  
Tel 0776-54-1552

店舗リフォーム例



民間児童施設例



※H27より機、イスも対象です

## 「夜間かんがい」で実ったコシヒカリを 「はさがけ」しました。

**「夜間かんがい」**

は、夏場の夜間に冷たい  
パイプラインの水を  
田んぼに張ることで、  
昼と夜の寒暖差が大きくなり、  
米の品質と食味の向上が  
期待されます。

平成26年に策定した「九頭竜川地域 農と水の振興ビジョン」では、パイプラインで供給されるきれいで冷たい水を利用した「夜間かんがい」の導入により、コシヒカリの高品質・高食味化を推進することとしています。

今回、その一環として地元農家の方とともに「夜間かんがい」で育てたコシヒカリを昔ながらの「はさがけ」で天日干しを行いました。

福井市土橋町



農産物直売所「食と農アグリスタイルほやほや」にて、3kg袋詰で販売されました。

福井市天池町



森田地区文化祭にて、1kg真空パック詰め販売されました。